

<都市計画に関する基本的な方針推進事業>

◇ 執行状況及び成果等

街づくり活動への支援

1. 街づくり助成金

実績なし

2. 街づくり専門家派遣

実績なし

年 度	29	30	元	2	3
街づくり助成金(件)	0	0	0	0	0
街づくり専門家派遣(回)	1	0	0	0	0

3.街づくり審査会運営費

(1)街づくり審査会開催状況

回数	開催日	開催内容
1	令和3年6月7日～6月21日 [書面開催]	・会長、会長代理、調整会委員の選出について[審議]※1件
2	令和3年9月15日	・大規模土地取引行為の届出に伴う助言について[審議]※1件 ・ニュータウン再生について[報告]※1件
3	令和3年12月16日	・多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画事後評価に係る意見聴取について[審議]※1件
4	令和4年2月11日～3月11日 [書面開催]	・地域街づくり協議会の認定について[審議]※1件 ・大規模土地取引行為の届出に伴う助言について[審議]※1件
5	令和4年3月28日	・多摩センター駅周辺地区都市再生整備計画事後評価シートへの反映結果について[報告]※1件 ・多摩センター駅周辺のまちづくりに係る意見について[伺い]※1件

(2)調整会開催状況

令和3年度開催実績なし

(3)街づくり審査会の委員構成

合計10人(学識経験者8人、公募市民2人)

(4)報酬内訳(過去5年間)

年度	開催数	委員報酬額	内 訳 (延べ人数)
29	2	185,500円	会長 12,500円×2人 委員 10,700円×15人
30	2	174,800円	会長 12,500円×2人 委員 10,700円×14人
元	4	404,900円	会長 12,500円×5人 委員 10,700円×32人 ※内会長への事前説明1回含む
2	4	413,800円	会長 12,500円×4人 委員 10,700円×34人
3	5	479,800円	会長 12,500円×5人 委員 10,700円×39人

事業カルテ (3年度決算)

道路交通課

08-03-01-479

地籍調査事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	国土調査法
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち	
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり
	施策	1	次世代につながる都市づくりの推進
	関連する施策	-	-
関連する個別計画	-		
関連する報告書など	-		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成6年度より事業を開始し、着手から平成15年度までは、全19地区(5.79km ²)を2地区づつ2年工程で実施してきた。一時(平成16～19年度)1地区2年工程に見直したが、平成20年度より従来の工程に戻している。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、平成23・24年度の2年間は本来の地籍調査ができず、街区基準点等の改定を行い、平成25年度から通常の地籍調査事業の執行水準に戻している。なお、平成27年度からは3年工程で実施しているが、公図の混乱等の状況を踏まえ、適宜調査期間や工程の見直しを行っている。		

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	地域単位で一筆毎に境界を確認し、正確な地図をつくることにより、地権者の土地利用を容易にする とともに、道路等の公共用地の管理の適正化を図る。 公共用地はもとより個人が所有する一つひとつの土地の全てが明らかになることで、災害時の速やかな 復興、及び土地利用が迅速かつ円滑に行えることとなる。 令和3年度は、連光寺一丁目西側B地区及び東部団地A地区の2年目調査、連光寺一丁目西側A・熊 野橋南地区の3年目調査、調査完了地区の登記作業等を行うものである。
予算の執行方法	業務委託により、一筆毎の土地の形、地目、面積などを調査・確認し、地籍調査成果として取りまとめ る。
事業の成果	3年目調査の連光寺一丁目西側A・熊野橋南地区においては、同意率95%以上を確保する。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	57,085 千円	53,873 千円	38,282 千円	24,307 千円	23,273 千円	
事業にかかる実コスト	66,582 千円	63,032 千円	47,079 千円	32,603 千円	31,556 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	22,356 千円	19,320 千円	21,375 千円	10,766 千円	9,615 千円
	地方債	0 千円				
	その他特定財源	0 千円				
	一般財源	34,729 千円	34,553 千円	16,907 千円	13,541 千円	13,658 千円
間接経費						
職員人件費	6,081 千円	5,796 千円	5,579 千円	5,023 千円	4,970 千円	
《従事人員数》	0.69 人	0.69 人	0.65 人	0.60 人	0.60 人	
その他の人件費	3,416 千円	3,363 千円	3,218 千円	3,273 千円	3,313 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	地籍調査面積 境界立会及び筆界点測量による閲覧	目標	0.01km ²	0.09km ²	0.08km ²
		結果	0.01km ²	0.09km ²	—
成果指標 (アウトカム)	境界立会及びそれによる同意筆数 (目標同意率)	目標	95%以上	95%以上	95%以上
		結果	100%	97%	—

特記事項

地籍調査は令和8年度を最終年とする計画を立てているが、連光寺一丁目東側や東部団地C・Dにつ
いては地図混乱が生じており、地権者の協力が必要となる。また、計画の変更も想定されることから都と
の綿密な調整も必要である。

◇自己点検

の 成果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財一 源 般		
B	B	B	イ	残っている地域は難易度の高い地域であり、同意率の低下が懸念されることから実施計画を見直 し、令和8年度の事業完了を目指している。今後もこれまでの地区と同程度の同意率が確保できる よう地籍調査に係る制度整備を注視しつつ、先行的な調査や事業の進め方についての工夫が必要 である。

<地籍調査事業>

◇執行状況及び成果等

令和3年度は連光寺一丁目西側A・熊野橋南地区の3年目の工程（成果の閲覧）を実施し、連光寺一丁目西側B地区と東部団地A地区の2年目工程（立会一筆調査）を実施した。一筆ごとの境界を確認し正確な地図と簿冊をつくり、土地の正しい位置、面積等が明らかになった。

地籍調査実施地域と面積

年度 \ 内容	実施地区	面積 (km ²)	調査年次
29	和田・東寺方周辺地区	0.14	3年目
	百草・落川周辺地区	0.16	2年目
	馬引沢団地・中沢地区	0.15	1年目
30	百草・落川周辺地区	0.16	3年目
	馬引沢団地・中沢地区	0.15	2年目
	東部団地・聖ヶ丘五丁目南地区	0.08	1年目
元	馬引沢団地・中沢地区	0.15	3年目
	聖ヶ丘五丁目南地区	0.01	2年目
	連光寺一丁目西側・熊野橋南地区	0.14	1年目
2	聖ヶ丘五丁目南地区	0.01	3年目
	連光寺一丁目西側A・熊野橋南地区	0.09	2年目
3	連光寺一丁目西側A・熊野橋南地区	0.09	3年目
	連光寺一丁目西側B地区	0.05	2年目
	東部団地A地区	0.02	2年目

事業費の内訳

年度 \ 内容	29	30	元	2	3
需用費	238,949	166,147	232,950	252,608	207,637
委託料	54,340,200	51,203,880	35,750,000	22,204,930	21,359,800
使用料及び賃借料	2,419,632	2,419,632	2,214,651	1,797,620	1,655,940
負担金・補助及び交付金	86,000	83,000	84,000	52,000	49,000
合計	57,084,781	53,872,659	38,281,601	24,307,158	23,272,377

事業カルテ (3年度決算)

都市計画課

08-03-01-948

ニュータウン再生関連事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市計画法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	1	次世代につなぐ都市づくりの推進			
	関連する施策	E2-4	E2-5	—	—	—
関連する個別計画	多摩市ニュータウン再生方針、諏訪・永山まちづくり計画					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	「多摩市ニュータウン再生方針(平成27年度)」を作成。平成28年度から「多摩市ニュータウン再生推進会議」を設置しニュータウン再生の取り組みへの提言を行ってきている。また、平成29年度には、「諏訪・永山まちづくり計画」を策定し、リーディングプロジェクトの推進に取り組んでいる。シンポジウムを毎年開催し、ニュータウン再生についての市民意識の醸成を図っている。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成29年度
事業の目的、 令和3年度の目標		「多摩市ニュータウン再生推進会議」を円滑に運営し、再生に向けた各リーディングプロジェクトの取り組みを推進する。特に、「南多摩尾根幹線沿道土地利用方針」及び「愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画」については、検討2年目となる令和3年度は、多摩市ニュータウン再生推進会議による素案の取りまとめを行う。また、シンポジウムを開催し、市民意識の醸成を図る。
予算の執行方法		多摩市ニュータウン再生推進会議運営支援業務委託料、ニュータウン再生に伴うまちづくり計画策定業務委託料、委員謝礼、会場使用料、印刷製本費等
事業の成果		多摩市ニュータウン再生推進会議を3回開催し、「南多摩尾根幹線沿道土地利用方針」及び「愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画」の素案を取りまとめた。多摩ニュータウン再生に係る市民意識の醸成を図るためのシンポジウムを、新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に、オンラインで開催した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	17,089 千円	12,826 千円	29,291 千円	20,795 千円	21,876 千円	
事業にかかる実コスト	27,513 千円	29,588 千円	46,598 千円	37,787 千円	35,553 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	都支出金	14,069 千円	0 千円	0 千円	3,243 千円	5,913 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	3,020 千円	12,826 千円	29,291 千円	17,552 千円	15,963 千円
	間接経費					
職員人件費	7,050 千円	13,441 千円	13,732 千円	13,394 千円	6,626 千円	
《従事人員数》	0.80 人	1.60 人	1.60 人	1.60 人	0.80 人	
その他の人件費	3,374 千円	3,321 千円	3,575 千円	3,598 千円	7,051 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	多摩ニュータウン再生の推進に向けた多摩市ニュータウン再生推進会議の開催と市民向けシンポジウムの開催	目標	推進会議2回 シンポジウム1回	推進会議3回 シンポジウム1回	推進会議3回 シンポジウム1回
		結果	推進会議2回 シンポジウム1回	推進会議3回 シンポジウム1回	—
成果指標 (アウトカム)	長期的な視点をもって検討、推進していく事業のため、成果指標の設定にはなじまない。	目標	—	—	—
		結果	—	—	—

特記事項

アウトプットとして、推進会議及びシンポジウムを開催するほか、再生推進会議における議論を踏まえ、南多摩尾根幹線沿道土地利用方針及びまちづくり計画の行政計画化を図る。

◇自己点検

の 成果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ 量 的	財 一 源 般		
N	A	A	I	多摩ニュータウン再生の取り組みの成果は早期には表れにくく、各取り組みの関係主体との連携・協力が必要となる。そのため、可能な範囲で取り組みの着手、進行の可視化を図る。また、諏訪・永山地区における取り組みを進めるとともに、「南多摩尾根幹線土地利用方針」の策定や「愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画」の策定など各プロジェクトを一層推進する。

<ニュータウン再生関連事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 令和3年度多摩市ニュータウン再生推進会議運営支援委託(13,849,000円)

(1) 多摩市ニュータウン再生推進会議の開催補助

	開催日	開催内容
1	令和3年8月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の経緯 ・愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等のまちづくり計画の検討 ・南多摩尾根幹線沿道土地利用方針の検討 ・令和3年度シンポジウムについて
2	令和3年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等のまちづくり計画の検討 ・南多摩尾根幹線沿道土地利用方針の検討 ・令和3年度シンポジウムについて
3	令和4年2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等のまちづくり計画の検討 ・南多摩尾根幹線沿道土地利用方針の検討 ・リーディングプロジェクトの進捗状況 ・令和3年度シンポジウムについて ・次年度の想定スケジュールについて

(2) 多摩ニュータウン再生プロジェクトシンポジウム(第9回)の企画提案業務

開催日	開催内容
令和4年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市ニュータウン再生推進会議からの報告 ・基調講演「多摩ニュータウンの価値を上げるデザイン・マネジメント・社会実験」 (株式会社オープン・エー 代表取締役 馬場正尊 氏)
参加者人数	<ul style="list-style-type: none"> ・座談会「多様な社会実験を通じたニュータウン再生」
オンライン開催人約 (視聴者延べ62人)	

2 愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画検討委託(7,177,500円)

多摩市ニュータウン再生方針及び令和元年度に提言を受けた全体計画を踏まえ、諏訪・永山まちづくり計画に続く、愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画について、令和2年度から多摩市ニュータウン再生推進会議にて検討し、令和3年度に素案の取りまとめを行った。

(1) 計画策定に伴う基礎情報の追補

(2) まちづくり計画の検討

①リーディングプロジェクト案の検討②分譲団地マンション再生に係る促進方策の検討③分譲団地マンション管理組合の意向調査④まちづくり計画素案の検討・素案のとりまとめ

(3) 住環境に係る住民アンケートの実施

(4) 関係機関との協議・調整に係る資料作成

(5) 報告書の作成

事業カルテ (3年度決算)

公園緑地課

08-03-04-493

公園管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市公園法
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にするまち	
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出
	関連する施策	-	-
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画		
関連する報告書など	多摩市みどりのルネッサンスへの取組み		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和48年4月に新住宅市街地開発事業により整備された公園の管理を行うため、当時の建設部内の組織が設置され、現在(令和3年1月1日)208公園緑地を市民が安全・安心に利用できるよう管理している。これまで、各公園の実情をもとに公園管理業務委託における施設の草刈回数や清掃回数等の見直しとともに公園の美化活動としての公園愛護会や花壇管理のアダプト、緑地管理のグリーンボランティアとの協定による公園管理の市民協働を推進しながら、管理経費の削減に努めている。令和3年度は、公園管理業務委託の複数年契約の3年目となる。		

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	地球と人にやさしい持続可能なまちづくりを進めていく中で、市内の208公園緑地を安全・安心で快適な公園にするとともに、みどり豊かな緑地を保全していくために、公園施設を計画的に管理運営する。また、公園や緑地の樹木について、地域特性や暮らしと調和するみどりのあり方を地域との合意形成を図りながら、「みどりのルネッサンス」に基づき、みどりの量から質への転換及び公園利用の拡充を図る。
予算の執行方法	公園・緑地を安全かつ快適に維持し、施設の保全を図るため、公園管理業務委託及び「みどりのルネッサンス」に伴う市民協働に関する予算を適切に執行した。遊歩道モデルコース上の落合南公園においては、トイレトペーパーを試行的に設置した。また、公園花壇の育成を目指した「コミュニティー花壇」事業を継続実施した。
事業の成果	適切な公園・緑地の維持管理により、利用者が、安全・安心に快適に利用することができ、市民生活に余暇や休息を与えることができた。また、平成26年度に策定した「みどりのルネッサンス」を踏まえて、市民が公園緑地に関わる機会の創出や今後の公園管理のあり方検討の参画に向けて、その実現に向けて、まず市民・事業者との協議の場を持ち、取り組みの試行(鶴牧西公園果樹の谷維持管理や田植え体験)を行った。

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	579,588 千円	575,754 千円	653,036 千円	688,226 千円	644,043 千円	
事業にかかる実コスト	642,506 千円	637,040 千円	715,487 千円	749,248 千円	702,613 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	6,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	8,500 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円				
	その他特定財源	9,664 千円	12,679 千円	9,154 千円	3,824 千円	22,619 千円
	一般財源	563,924 千円	563,075 千円	635,382 千円	684,402 千円	621,424 千円
間接経費						
職員人件費	60,810 千円	57,964 千円	58,876 千円	57,425 千円	54,996 千円	
《従事人員数》	6.90 人	6.90 人	6.86 人	6.86 人	6.64 人	
その他の人件費	2,108 千円	3,322 千円	3,575 千円	3,597 千円	3,574 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	公園利用者が安全で快適な公園利用を行うための管理経費	目標	644,465千円	654,464千円	663,984千円
		結果	688,227千円	644,043千円	—
成果指標 (アウトカム)	地域との合意により改善を行った公園及び緑地の箇所数	目標	15箇所	15箇所	15箇所
		結果	17箇所	11箇所	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し	方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 的 的		財一 源般
B	B	B	イ

<公園管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

令和3年度歳出執行額 644,043,328 円

1 報償費 5,004,000 円 (円)

年度 件名	29		30		元		2		3	
	団体数	金額 (円)								
公園愛護会	60	5,100,000	57	5,000,000	57	4,950,000	57	4,850,000	57	4,900,000
公園緑地 ワーク ショップ等 謝礼	-	-	3	75,000	1	30,000	1	36,000	2	104,000

2 需用費 32,001,279 円 (円)

年度 件名	消耗品	燃料費	印刷製本費	光熱水費	修繕料
29	1,950,674	21,014	0	29,429,283	4,995,606
30	2,317,245	17,569	106,272	24,424,694	4,989,788
元	1,925,383	18,186	146,520	25,966,045	5,190,537
2	1,868,129	17,837	26,950	25,034,800	4,963,328
3	1,635,929	16,092	-	25,415,649	4,933,609

3 役務費 229,575 円 (円)

年度 件名	電話料	保険料	その他
29	33,238	179,113	12,382
30	33,328	198,949	9,396
元	37,426	167,954	9,091
2	48,744	174,386	15,491
3	45,882	170,392	13,301

4 委託料 554,957,762 円 (円)

年度 件名	29	30	元	2	3
設備・機器等保守点検委託	109,728	142,776	87,896	22,000	31,900
公園管理業務委託	384,644,490	385,185,169	447,809,164	453,855,043	456,038,542
害虫駆除業務委託	428,760	267,840	-	-	-
諸管理業務委託	44,882,753	62,911,347	86,580,082	103,331,529	64,778,423
機械警備業務委託	1,093,824	1,065,312	1,075,176	1,085,040	1,085,040
産業廃棄物収集運搬・処理業務委託	437,130	390,798	635,861	632,665	469,425
遊具点検委託	-	3,888,000	-	-	-
公園施設長寿命化対策実施設計業務委託料	-	1,491,750	-	-	-
公園施設健全度調査業務委託	33,264,000	-	-	-	-
橋りょう点検業務委託	-	3,930,120	-	-	-
公園灯LED化事業業務委託	-	12,046,644	12,050,856	12,055,068	12,055,068
コミュニティ花壇育苗管理業務委託	1,963,731	1,971,540	1,958,330	1,109,748	1,499,960
多摩東公園指定管理料	-	-	-	21,454,000	18,999,404

5 使用料及び賃借料 13,439,724 円 (円)

年度 件名	用地借上料	庁用車借上
29	16,217,262	207,900
30	14,731,958	207,900
元	13,259,538	200,289
2	13,259,538	195,360
3	13,244,364	195,360

6 工事請負費 35,989,250 円 (円)

年度 件名	29	30	元	2	3
公園施設改修工事	21,062,062	18,415,134	17,204,694	18,621,680	11,989,450
駐車場整備工事	-	-	-	-	-
公園施設補修工事	19,368,460	19,671,076	23,988,995	23,956,413	23,999,800
緑地法面保護工事	3,985,200	7,997,400	-	-	-
木製遊具改修工事	8,598,960	-	6,264,000	-	-

7 その他 2,421,738 円

原材料	1,471,997 円
備品購入費	0 円
負担金	50,000 円
補償補填及び交付金	826,741 円
公課費	73,000 円

事業カルテ (3年度決算)

公園緑地課

08-03-04-494 公園整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市公園法、都市緑地法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出			
	関連する施策	E2-4	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画/多摩市公園施設長寿命化計画					
関連する報告書など	多摩市みどりと環境基本計画年次報告/多摩市みどりのルネッサンスへの取り組み					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩市の公園整備事業は、多摩ニュータウン事業による各施行者により整備された公園緑地が昭和48年頃から順次市に移管されてきた。一方、既存地域では、中沢池公園や原峰公園等の整備に加え、和田緑地保全の森など緑地保全の指定を行いながら事業を展開してきている。今後の事業については、みどりの確保のあり方や「多摩市公園施設長寿命化計画」に基づき、国庫補助金(社会資本整備総合整備交付金)とともに、都市計画事業の再認可取得により都市計画税を活用し、市の財政負担の軽減を図りながら、自然環境の保全と都市公園の更新を進めていくこととしている。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	公園・緑地の用地取得及び公園施設長寿命化対策支援事業を進めていく中で、今年度は近隣公園である落合南公園の改修工事を進め、地域の街区公園については、D判定遊具の改修に舵を切り、現在使用不可の遊具を更新していくと共に多摩中央公園改修整備・運営事業ではP-PFIの導入に伴う民間事業者を決めるため、プロポーザル審査による選定を進めていく。また、大栗橋公園と連光寺・若葉台里山保全地域の用地取得を行う。	
予算の執行方法	落合南公園改修工事及びD判定遊具等改修工事については、社資交付金を申請するため東京都設計審査を受け、承認後に工事発注を行っていく。また、多摩中央公園改修整備・運営事業では、プロポーザル審査による事業者選定と併せて社資交付金の獲得をするため費用対効果分析を行う予定である。	
事業の成果	地域内での合意形成を図りながら、落合南公園改修工事、D判定遊具の改修を進めた。また、多摩中央公園改修整備・運営事業では、プロポーザル審査により候補事業者の選定を行った。さらには、大栗橋公園と連光寺・若葉台里山保全地域の用地取得を行い、安心・安全な都市基盤環境の充実とともに、安定した自然環境の保全を進め、特色ある公園づくりに取り組んだ。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	66,629 千円	87,113 千円	492,463 千円	99,333 千円	703,445 千円	
事業にかかる実コスト	82,140 千円	100,638 千円	520,184 千円	132,817 千円	728,293 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	11,000 千円	19,000 千円	31,600 千円	12,443 千円	33,203 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	30,000 千円	52,160 千円	129,549 千円
	地方債	0 千円	0 千円	35,200 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	88,377 千円	0 千円	332,047 千円
	一般財源	55,629 千円	68,113 千円	307,286 千円	34,730 千円	208,646 千円
間接経費						
職員人件費	15,511 千円	13,525 千円	27,721 千円	33,484 千円	24,848 千円	
《従事人員数》	1.76 人	1.61 人	3.23 人	4.00 人	3.00 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	〔令和2年度〕 公園改修に向けた地域との意見交換会の開催 〔令和3年度以降〕 D判定遊具の改修の実施	目標	落合・和田地区の意見交換会を実施する(対象公園15箇所)	D判定遊具の改修を実施する(対象公園19箇所)	D判定遊具の改修を実施する(対象公園20箇所)
		結果	コロナ禍の影響で意見交換会は中止。地域の小中学校とヒアリングを行った。(対象7公園)	D判定遊具の改修を実施した(対象公園11箇所)	—
成果指標 (アウトカム)	〔令和2年度まで〕 公園改修に向けた地域との意見交換会の開催 地域との合意形成に基づき整備する公園数 〔令和3年度以降〕 遊具点検に基づくD判定遊具改修の数	目標	地域の合意形成による整備公園数:12公園	D判定遊具の改修する数(22個)	D判定遊具の改修する数(23個)
		結果	地域の合意形成による整備公園数:10公園	D判定遊具を改修した数(16個)	—

特記事項	令和2年度に入札不調となった落合南公園の改修工事については、予算及び国庫補助(社資交付金)を繰り越して、無事に改修工事が完了した。
------	---

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
B	B	B	イ	公園整備事業については、平成30年度に策定した「多摩市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化対策と施設の長寿命化を進めていたものの、コロナ禍の財政への影響を踏まえ、D判定遊具のみの改修に転換したため、令和5年度に予定する計画改定で今後の進め方を再整理する。

<公園整備事業>

◇ 執行状況及び成果等

令和3年度歳出執行額

703,444,313 円

1 不動産鑑定料 176,000 円

年度	件名	不動産	金額(円)
29		-	0
30		-	0
元		-	0
2		大栗橋公園用地、連光寺・若葉台里山保全地域用地の合計2件	2,667,632
3		多摩市関戸五丁目18番14 ほか意見書作成	176,000

2 土地購入費 472,655,606 円

年度	件名	用地	面積(m ²)	金額(円)
29		-	-	0
30		-	-	0
元		-	-	0
2		-	-	0
3		大栗橋公園用地買取 (仮称)連光寺六丁目公園用地買取	1,686.63 3,600.86	231,397,986 241,257,620

3 測量業務等委託 2,310,000 円

年度	件名	測量	金額(円)
29		市場取引価格実態調査委託外4件	1,827,360
30		多摩中央公園改修に向けた基本事項調査検討業務委託外4件	7,820,686
元		諏訪・永山地区5公園測量委託・地域ワークショップ等支援業務委託外5件	10,882,280
2		多摩中央公園PPP等アドバイザー業務委託外9件	20,627,530
3		大栗橋公園現況高低測量委託、(仮称)連光寺六丁目公園測量委託	2,310,000

4 公園設計業務委託 16,009,722 円

年度	件名	設計	金額(円)
29		多摩東公園・武道館・陸上競技場改修工事基本・実施設計業務委託	6,300,000
30		多摩東公園・武道館・陸上競技場改修工事基本・実施設計業務委託	14,868,000
元		多摩中央公園基本設計委託外4件	63,899,000
2		諏訪第五公園実施設計委託外2件	15,738,800
3		グリーンライブセンター改修基本設計委託外3件	16,009,722

5 公園整備工事 197,697,815 円

年度	件名	工事	金額(円)
29		(仮称)一ノ宮二丁目公園整備工事	58,501,440
30		一ノ宮後田公園撤去工事・多摩東公園改修工事	64,424,000
元		多摩東公園改修工事その2 外2件	417,680,900
2		街区公園改修工事	59,999,500
3		落合南公園改修工事(繰越明許) 多摩市街区公園D判定遊具等改修工事	149,906,900 47,790,915

6 委員謝礼 286,700 円

年度	件名	報償費	金額(円)
2		多摩中央公園指定管理者候補者等選定委員会 委員謝礼(公募前)	299,200
3		多摩中央公園指定管理者候補者等選定委員会 委員謝礼(公募後) 連光寺・若葉台里山保全地域農の活用検討会 委員謝礼	114,600 172,100

7 多摩中央公園改修関連事業業務委託 12,140,700 円

8 事業認可資料等作成業務委託 1,999,800 円

9 農地整備・土壌診断業務委託 41,250 円

10 消耗品 126,720 円

事業カルテ (3年度決算)

公園緑地課

08-03-04-498

多摩中央公園改修整備・運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市公園法		
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち			
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり		
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新		
	関連する施策	E2-2	—	—	—
関連する個別計画	多摩市みどりの基本計画/多摩市公園施設長寿命化計画				
関連する報告書など	多摩市みどりのルネッサンスへの取り組み				
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩中央公園は、パルテノン多摩をはじめグリーンライブセンターや旧富澤家住宅など多摩ニュータウンのシンボルとしての中心性、象徴性を備えた、総合公園である。1987年(昭和62年)の開園から35年が経過し公園施設の老朽化と共に、誰もがより安心・安全かつ円滑に利用するための園路など改善対策が求められている。平成30年の市民意見交換会や市民アンケート、プレイスメイキング社会実験を経て、平成31年に多摩中央公園改修基本方針を策定した。				

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	令和3年度
事業の目的、 令和3年度の目標	令和4年度より、CMA連携協議会の事務局運営及び特定公園施設の維持管理やG.L.C改修整備の建築、造園の実施設計も併せて開始するに伴い特定公園施設の実施設計を進め、譲渡契約を締結し、改修整備を開始する予定である。これらの開始に向けて、令和3年度中に市民説明会を行い、今後の市民主体の公園利活用の運営を目指してプレイスメイキング社会実験を行う。	
予算の執行方法	市民説明会の会場使用料 多摩中央公園パークマネジメントに関する社会実験評価支援業務委託	
事業の成果	多様な利用者が安全・快適に過ごすことができ、かつクリエイティブな利用が可能となる魅力ある公園が整備され、また、より多くの市民に愛され、利用され続ける公園の管理運営がなされることを目指す前段として、事業者が選定され、市民説明会の実施と今後の市民主体の公園利活用の運営に向けて、プレイスメイキング社会実験を行った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	0千円	0千円	0千円	0千円	2,249千円	
事業にかかる実コスト	0千円	0千円	0千円	0千円	6,722千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	2,249千円
	間接経費					
職員人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	4,473千円	
《従事人員数》	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.54人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	事業者が選定され、市民説明会の実施と今後の市民主体の公園利活用の運営に向けて、プレイスメイキング社会実験を行った。	目標		—	—
		結果		市民説明会、プレイスメイキングそれぞれ実施	—
成果指標 (アウトカム)	—	目標		—	—
		結果		—	—

特記事項

—

◇自己点検

成果指標 の推移	今後の見通し		方 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
N	N	N	イ	—

<多摩中央公園改修整備・運営事業>

◇ 執行状況及び成果等 令和3年度歳出執行額 2,248,640 円

1 説明会等講師謝礼 90,000 円

年度	件名	報償費	金額(円)
3		多摩中央公園改修整備・運営事業説明会における講演講師謝礼	90,000

2 委託料 2,090,000 円

年度	件名	業務委託	金額(円)
3		多摩中央公園パークマネジメントに関する社会実験評価支援業務委託	2,090,000

3 使用料及び賃借料 68,640 円

年度	件名	会場使用料	金額(円)
3		多摩中央公園改修整備・運営事業説明会 会場使用料	68,640

事業カルテ (3年度決算)

公園緑地課

08-03-05-495

みどりの保全育成事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	都市公園法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にするまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	1	自然環境・都市環境の保全と創出			
	関連する施策	C1-1		-	-	-
関連する個別計画	多摩すみどりの基本計画、みどりの保全及び育成に関する条例					
関連する報告書など	多摩すみどりと環境基本計画年次報告書					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和50年より保存植物等補助事業を開始した。昭和62年度からは、斜面地管理用補助金及び苗木等物的補助を開始した。沿道斜面地補助については平成14年度より順次見直しを行い、平成26年度からは補助単価を20円/㎡とし、継続することとした。また、フラワーボット、花苗配布事業については行政評価市民委員会の評価により、平成23年度末で事業を廃止した。さらに平成30年度からは、保存植物等補助事業の樹林地補助単価を30円から20円/㎡に減額し、沿道斜面地の補助金額と同額とした。令和元年度は5年に一度のみどりの現況調査を実施した。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	みどりの保全・育成を図り、市民の健康で快適な生活環境を確保する。花の種からの育成講座やみどりの保全に関するシンポジウムの開催などを通じてみどりの保全について普及推進する。また沿道斜面地については、補助金の交付による保全のための支援からボランティア講座等による人材育成を通じ、住民自主管理への支援に取り組む。	
予算の執行方法	保存植物や斜面地管理費の一部を補助金として交付する。また、緑の募金事業交付金を活用し、花苗の配布に代わりグリーンライブセンター(恵泉女学園大学)の協力のもと、花壇の手入れや種からの育成の講習会を開催する。測量調査等については、主に委託により実施する。	
事業の成果	保存植物や斜面地管理費の一部を補助金として交付した。また、緑の募金事業交付金を活用した緑化推進事業として、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、当初予定していた講習会実施は見送ったものの、恵泉女学園大学の協力のもと、草花の種、宿根草の配布事業を実施した。	

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	4,718 千円	4,668 千円	6,792 千円	4,815 千円	4,437 千円	
事業にかかる実コスト	10,169 千円	9,996 千円	12,290 千円	12,828 千円	11,246 千円	
内訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	100 千円	99 千円	111 千円	110 千円	100 千円
	一般財源	4,618 千円	4,569 千円	6,681 千円	4,705 千円	4,337 千円
間接経費						
職員人件費	1,234 千円	1,176 千円	1,030 千円	3,516 千円	2,402 千円	
《従事人員数》	0.14 人	0.14 人	0.12 人	0.42 人	0.29 人	
その他の人件費	4,217 千円	4,152 千円	4,468 千円	4,497 千円	4,407 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	市内のみどりを保全していくため保存植物等補助金を支給する	目標	215件	209件	207件
		結果	207件	199件	—
成果指標 (アウトカム)	保存植物の件数の維持(増減)	目標	1件	1件	1件
		結果	△7件	△8件	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
B	B	B	イ	樹木など所有者の管理負担の軽減のため、その一部についての補助を継続することで、みどり環境の維持増進を図る。一方で、民有樹木の保全を含めた、今後のみどりの持続的な保全の在り方を検討していく必要がある。

<みどりの保全育成事業>

◇ 執行状況及び成果等

令和3年度歳出執行額

4,437,340 円

1 報償費 0 円

年度	件名	金額(円)
29	花壇作り講習会講師謝礼(春・秋)	36,000
30	花壇作り講習会講師謝礼(春・秋)	31,500
元	花壇作り講習会講師謝礼(春・秋)	36,000
2	-	0
3	-	0

2 需用費 94,380 円

年度	件名	消耗品(円)
29		99,792
30		99,576
元		98,614
2		98,395
3		94,380

3 役務費 77,240 円

年度	件名	賠償責任保険料(円)
29		81,060
30		88,610
元		80,750
2		79,010
3		77,240

4 委託料 0 円

年度	件名	件名	金額(円)
元		みどりの現況調査業務委託	2,244,000
2		新堂緑地境界測量委託	335,500
3		-	0

5 みどりの保全保護補助金 2,097,560 円

年度	件名	保存樹木		保存樹林		生垣	
		本数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
29		138	548,000	18	1,364,610	73	370,500
30		143	572,000	18	1,386,060	73	375,200
元		126	504,000	17	1,293,260	71	367,200
2		120	480,000	17	1,293,260	70	360,400
3		117	468,000	17	1,293,260	65	336,300

保存樹木1本4,000円/保存樹林1㎡当り20円/生垣20m以上50m未満4,000円/50m以上100m未満5,400円/100m以上6,700円

6 沿道斜面緑化保存補助金 2,168,160 円

年度	件名	計(円)	補助単価 1㎡当り(円)	前期		後期	
				団体	金額(円)	団体	金額(円)
29		2,168,160	20	35	2,168,160	-	0
30		2,168,160	20	35	2,168,160	-	0
元		2,168,160	20	35	2,168,160	-	0
2		2,168,160	20	35	2,168,160	-	0
3		2,168,160	20	35	2,168,160	-	0